

オセ國中執選挙の

意義と任務

一切の潮流運動を拒否し、統一した
自治会運動を……

1.

過去三年間、市大自治会運動に全面的な協

賛を責任を担って来た統一会議（主流派）

は、この手での活動をふさぐ、今選挙の意義

と任務、争点を明かにする。現在、全日

の学生運動は極めて不幸な分裂の中にある。

市大に於ても、この分裂は決して外部的なも

ののではない。四月以降の運動の中での統一

統一した自治会運動の否定、潮流間運動の

制約として表われてきている。即ち、一々

に於る民青、民青、全連統一派の諸要路

統一連と協賛による斗争の方向性の喪失

と「全連」の中心主義の持込み、他方の極に

於る社學同系、全連派の望し、実力の

斗争の陣地付けによる自治会の統一戦線の

破壊である。今こそ、一切の反自治会主義

諸要求の躍進による課題の拡散、極左冒険

主義に於いて市大自治会は最終的に決別し

なければならぬ。わかれ統一会議（主

流派）は、総合的大胆的自治会運動の我

愛の遂全力を傾注するであろう。

潮流間運動の否認による分列の固執代

は、全日自治会の共同行動による統一

への巨歩……

2.

6、15を全日学生の共同行動の日にして合

言葉に、日高アールに呼応し発せられた

5、6市大アールは、6、15アクトラム

反戦、沖縄尊厳、安保給付の大奔流を築き

つのである。だがこの「課題、日程」の一致

（あるいは統一性）に、わらわらばきだ

真の統一した運動は築かれにくい。そこ

には、統一の方向をめぐって分列の意見の対

立と原則的固執の、あつてゐるからである。

即ち、統一をめぐる意見の対立は、次の三つ

の基本的な立場からの対立なのである。

オート、民青「全連」による一政治潮流

のセクト的拡大（意見の異なる部分の全くの

排除）による「統一」方式であり、

オ二に、諸潮流間の野合による「統一」

ロッキスト諸派、及び民青同を消滅する「民青派

民青同」（即ち、「三派全連」なり「行動調整

否」方式）の立場であり、

オ三に、そのいさゝをも拒否する我々統一会

議の立場である。即ち、全る組織的諸要路に

て、課題の一致に基づく自治会の共同行動の追

求による統一への道である。一切の潮流間運動

を拒否し、全日自治会の共同行動の実現のため

全日の学生生活の発展にたどり着かない。

総合的自治会運動の新しい

なる発展を……

3.

今期中選挙をめぐって我

々に課せられているのは、

全日学生戦線の分裂に際し

わらわら、決定的な統一への

の方向と、その具体的統一

歩である。6、15共同斗争案

現への固い意志統一を、行の

ことであり、オ二に、諸要

求を個別分散的に要求する

のとはなく、学生の本利と

原則の貫徹した、総合的学

園建設に向つて大きく前

進することである。斗いの

中、市大自治会の新しい発展

発展を打ち立てていく。

統一会議(主流派)